

広報いちのへ Ichinohē



大志を胸に抱け、やひゆうじに

将来に向けた誓いを立てる「大志を抱く会」(「[月]十日口、鳥海地区公民館に参加した鳥海中二年生の皆さん。前から順に土屋優花さん、柏葉光輝さん、小南館夏海さん、山田友哉さん、川又拓也さん、柏葉光輝さん、柴田恭輔さん。大切な言葉を胸に輝く表情で未来へ進みます。(本文20ヶに関連)

飲酒運転白書

《特集》命のためにできるいじ

いちのへの 地地笑 For Smile

希望と感謝を胸に
今、県立いちのへ
県立一戸高等学校卒業式挙行



「ありがとうございました」。大きな声で感謝の気持ちを伝え、清水輝男校長から卒業証書を受け取る圃田啓祐さん。

県立一戸高等学校(清水輝男校長、生徒数三百五十五人)では三月一日、卒業式が挙行されました。卒業生は文化デザイン系列の二年生による手づくりのコサージュを胸に付けて、晴れやかな表情で入場しました。清水校長は式辞で「『挑戦する心を忘れるなれ』という言葉を贈ります。挑戦には必ず苦難が伴います。目標を実現するため、必要なものを得るために、行動に移せる大人になってほしい」とはなむけの言葉を送りました。卒業生は喜びと自信に満ちた表情で一人ずつ清水校長から卒業証書を受け取りました。

在校生代表として小野寺玲香さんが卒業生に「先輩たちはわたしたちにとってあこがれの存在。明るい未来へそれぞれの花を咲かせてください」と送辞を述べ、卒業生は口々に過ごした先生や保護者、後輩と校歌を齊唱して、学び舎を卒立ちました。



卒業生たちは感慨深く、充実した表情で校歌を歌いました。◎皆勤賞は12人。代表して林野友紀さんが表彰を受け、清水校長は「よくがんばりました」と声を掛けました。

►卒業生の館野涉吾さんは「とても充実した3年間でした」、西井緑彩さんは「感動しました。みんなに『ありがとう』伝えたいです」と笑顔で学校生活を振り返りました。

編集後記

16・17ページに掲載した奥中

山高原クロスカントリースキー大会。地域のスタッフのがんばりを伝えたいと大会前の準備から何度も会場におじゃましました。準備の写真を一枚しか掲載できず、ここにもう一枚載せていただきます。▼大会では「がんば」と記録をとりながら選手を励ます女性スタッフの姿が本当にすてきだと感じました。▼表紙の鳥海中生徒とは「外で色紙を持ってエグザイ〇ばむう~」と相談。行事の都合上、本当に短い時間でしたが協力的で、輝く表情が印象的、これからも元気をもらいました。▼いよいよ三月。春もそこまで来てします。楽しい新生活へとつなげていきましょう。

総務課庶務係 久保田太一

●広報いちのへ3月号の印刷経費は1部50.9円です



広報いちのへは、環境に配慮し、大豆油インキとFSC認証紙を使用しています。

大きな足跡、 活躍をたたえ

芸術やスポーツの分野で活躍した団体や個人を表彰する平成二十一年度一戸町文化賞・スポーツ賞の受賞者が決まり、三月三日、町民文化センターで表彰式が行われました。

表彰式では、平成二十一年度一戸町総合スポーツ大会の表彰式も合わせて行わされました。文化賞・スポーツ賞の受賞者（団体と個人）と総合スポーツ大会の成績は次のとおりです。



スポーツ賞受賞の柴田爽さん



賞状を手にする文化賞受賞者の皆さん

文化賞

古館 芽衣	(一戸南小学校4年)
全國内水面漁業協同組合連合会第 8回全国標語コンクール	全国内 水面漁業協同組合連合会長賞
滝澤 舞	(小鳥谷小学校6年)
第42回岩手読書感想文コンクール 優秀賞	第42回岩手読書感想文コンクール 優秀賞
東山 慧美	(鳥海中学校3年)
第55回青少年読書感想文岩手県コンクール	第55回青少年読書感想文岩手県コンクール 最優秀賞
大畑 太右衛門	
県民文芸作品集 第40集 小説部	
門 芸術祭賞	
中村 宏	
ビザロストー通巻10号特別記念号	
国際芸術名譽賞	
一戸小学校金管バンド	
第38回マーチングバンド・バトン トワーリング東北大会 優秀賞 /	
全日本アンサンブルコンテスト第 30回岩手県大会小学校の部 管打	
樂器八重奏 金賞	

アホーツ賞

<p>西館 勇陽（一戸南小学校2年）</p> <p>第24回ベルカップ・S&Bちびっこ健康マラソン岩手県大会 2年連続優勝</p>
<p>西館 敦（奥中山中学校出身）</p> <p>岩手県マスターズ陸上競技選手権大会 一〇〇メートル 二〇〇メートル 優勝</p>
<p>東北マスターズ陸上競技選手権大会 四〇〇メートル 日本新記録樹立</p>
<p>☆優秀指導者賞</p>
<p>開口 清治（盛岡大学附属高等学校硬式野球部監督 奥中山中学校出身）</p> <p>奥中山中学校在学中は野球部主力として活躍。平成4年の県中学校野球大会で優勝する。その後、</p>

盛岡大学附属高等学校に進み、平成7年夏の県大会で優勝し、甲子園に出場。平成12年から同校野球部コーチとなり、平成17年に部長平成20年に監督に就任し、卓越した技術と熱心な指導力で今春の選抜大会の出場を果たす。

久保 優寿（奥中山スポーツ少年団・奥中山中学校クロスカントリースキー部コーチ、奥中山中学校特設陸上部コーチ 奥中山中学校出身）

昭和61年から現在まで奥中山高原スポーツ少年団と奥中山中学校でクロスカントリースキー、奥中山中学校の特設陸上部のコーチとして長年指導する。

陸上部では、岩手県の代表として全国大会に2度出場するなど各種大会で上位入賞を果たし、クロスカントリースキーでもスポーツ少年団から中学校まで一貫して指導し、県大会、東北大会、全国大会で数々の入賞者を輩出している。岩手県の代表コーチも務める。



▼町総合スポーツ大会の記念楯

高田 莉子	(奥中山小学校4年)	第24回ペルカップ・S&Bちびっこ健康マラソン岩手県大会 優勝
菅原 華奈	(奥中山小学校5年)	第4回全国小学校アルペンスキーフェスティバル 出場
駒木 智成	(奥中山小学校6年)	第4回全国小学校アルペンスキーフェスティバル 出場
上村 果	(奥中山中学校3年)	第47回全国中学校スキー大会アルペン競技男子GS・SL 出場
高橋 麗子	(奥中山中学校2年)	第47回全国中学校スキー大会アルペン競技女子GS・SL 出場
前野 佳那	(奥中山中学校3年)	第47回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技 女子3キロクラシカル 出場／第47回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技 女子3キロフリー 出場

<p>高田 莉子（奥中山小学校4年） 第24回ベルカップ・S&Bちびっこ健康マラソン岩手県大会 優勝 菅原 華奈（奥中山小学校5年） 第4回全国小学校アルペンスキーフェスティバル 出場</p>
<p>柴田 真（一戸南小学校5年） 第4回全国小学校アルペンスキーフェスティバル 出場</p>
<p>駒木 智成（奥中山小学校6年） 第4回全国小学校アルペンスキーフェスティバル 出場</p>
<p>柴田 大一（一戸中学校3年） 第47回全国中学校スキー大会アルペン競技男子GS・SL 出場</p>
<p>高橋 廉子（奥中山中学校2年） 第47回全国中学校スキー大会アルペン競技女子GS・SL 出場</p>
<p>上村 果（奥中山中学校3年） 第47回全国中学校スキー大会アルペン競技女子GS・SL 出場</p>
<p>スカントリー競技 女子3歳（奥中山中学校2年） シカル 出場／第47回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技 女子3歳</p>
<p>前野 佳那（奥中山中学校3年） 第47回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技 女子3歳</p>
<p>スカナル 出場／第47回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技 女子3歳</p>
<p>スキー大会クロスカントリー競技 女子3歳（奥中山中学校3年） 第47回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技 女子3歳</p>
<p>女子3歳（奥中山中学校3年） 第47回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技 女子3歳</p>

トリーカントリー競技	女子リレー（第2走）	全国中学校スキー大会クロスカントリー競技
4位入賞／第65回くしろサッポロ氷雪国体スキー競技大会クロスカントリー競技少年女子	出場	4位入賞／第65回くしろサッポロ氷雪国体スキー競技少年女子
上山涼（奥中山中学校2年）	（奥中山中学校2年）	上山涼（奥中山中学校2年）
スカントリー競技	男子5キロクラシカル	スカントリー競技
荒屋敷舞（福岡高等学校3年・シカル出場）	（福岡高等学校3年・シカル出場）	荒屋敷舞（福岡高等学校3年・シカル出場）
一戸中学校出身）	（福岡高等学校3年・シカル出場）	一戸中学校出身）
第27回全国高等学校弓道選抜大会出場	（福岡高等学校3年・シカル出場）	第27回全国高等学校弓道選抜大会出場
出場	（福岡高等学校3年・シカル出場）	出場
釜石紗津希（福岡高等学校3年・奥中山中学校出身）	（福岡商業高等学校3年・奥中山中学校出身）	釜石紗津希（福岡高等学校3年・奥中山中学校出身）
校2年・奥中山中学校出身）	（福岡商業高等学校3年・奥中山中学校出身）	校2年・奥中山中学校出身）
第27回全国高等学校弓道選抜大会出場	（福岡商業高等学校3年・奥中山中学校出身）	第27回全国高等学校弓道選抜大会出場
出場	（福岡商業高等学校3年・奥中山中学校出身）	出場
女鹿口幸成（盛岡商業高等学校2年・奥中山中学校出身）	（盛岡商業高等学校2年・奥中山中学校出身）	女鹿口幸成（盛岡商業高等学校2年・奥中山中学校出身）
校2年・奥中山中学校出身）	（盛岡商業高等学校2年・奥中山中学校出身）	校2年・奥中山中学校出身）
第64回国民体育大会弓道競技遠	（盛岡商業高等学校2年・奥中山中学校出身）	第64回国民体育大会弓道競技遠
の4位近い6位	（盛岡商業高等学校2年・奥中山中学校出身）	の4位近い6位
戸館希恵（盛岡女子高等学校1年・一戸中学校出身）	（盛岡女子高等学校1年・一戸中学校出身）	戸館希恵（盛岡女子高等学校1年・一戸中学校出身）
平成21年第57回岩手県高等学校新人バーレーボール大会優勝	（盛岡南高等学校3年・奥中山中学校出身）	平成21年第57回岩手県高等学校新人バーレーボール大会優勝
手賞	（盛岡南高等学校3年・奥中山中学校出身）	手賞
中嶋愛実（盛岡南高等学校1年・奥中山中学校出身）	（盛岡南高等学校1年・奥中山中学校出身）	中嶋愛実（盛岡南高等学校1年・奥中山中学校出身）
第59回岩手県高等学校スキー大会	（盛岡南高等学校1年・奥中山中学校出身）	第59回岩手県高等学校スキー大会
クロスカントリー競技	（盛岡南高等学校1年・奥中山中学校出身）	クロスカントリー競技
ビネーション）高校女子優勝	（盛岡南高等学校3年・奥中山中学校出身）	ビネーション）高校女子優勝
高見政利（盛岡南高等学校3年・一戸中学校出身）	（盛岡南高等学校3年・奥中山中学校出身）	高見政利（盛岡南高等学校3年・一戸中学校出身）
平成21年度全国高等学校総合体育大会二〇〇九近畿まほろば総体全	（盛岡南高等学校3年・奥中山中学校出身）	平成21年度全国高等学校総合体育大会二〇〇九近畿まほろば総体全
国高等学校	（盛岡南高等学校3年・奥中山中学校出身）	国高等学校
体操競技選手権大会出場	（盛岡南高等学校3年・奥中山中学校出身）	体操競技選手権大会出場

上山 涼	(奥中山中学校2年)
第47回全国中学校スキー大会	クロスカントリー競技 女子リレー(第2走)
荒屋敷 舞	(福岡高等学校3年)
一戸中学校出身	
第27回全国高等学校弓道選抜大会	スカントリー競技 男子5キロクラシカル 出場
出場	
益石 紗津希	(福岡商業高等学校3年)
年・奥中山中学校出身	
第27回全国高等学校弓道選抜大会	出場
女鹿口 幸成	(盛岡商業高等学校2年)
校2年・奥中山中学校出身	
第64回国民体育大会弓道競技	遠
の4位	近的6位
手賞	
戸館 希思	(盛岡女子高等学校1年)
年・奥中山中学校出身	
第59回岩手県高等学校スキー大会	
クロスカントリー競技(コン	
ビネーション)高校女子	優勝
高見 政利	(盛岡南高等学校3年・一戸中学校出身)
平成21年度全国高等学校総合体育大会二〇〇九近畿まほろば総体全	
国高等学校	
体育競技選手権大会	出場

▼町総合スポーツ大会の記念楯

平成十二年十一月二十八日、

晴れ上がった朝、大空を白鳥が舞っていました。

初めて見る光景に、みんなで喜んだ家族。

その真ん中には、二人のお兄ちゃんが大好きな女の子、

大崎涼香ちゃん（当時七歳）の笑顔がありました。

平凡な幸せに包まれ、いつものように始まつた朝。

「行ってきます」と笑顔で元気に手を振りました。

『特集』飲酒運転白書 「命」のためにできること

もし、自分の命が代わられるのなら…

—それから五分後、あつてはならない悲劇が起きました。涼香ちゃんの命を奪った凶器は、「飲酒運転」。自分の命よりも大切な家族の命を奪われました。

『特集』飲酒運転白書では理不尽に奪われた命の重みなど飲酒運転が生み出すありのままの姿などから、飲酒運転について、ともに考えていきます。

涼香ちゃんの命は今、わたしたちに何を伝えるのでしょうか。



大崎涼香ちゃん（享年7歳）

平成12年11月28日、二戸市の県道で集団登校中の小学生の列に近所の男性（当時63歳）の軽トラックが突っ込み、大崎涼香ちゃんら2人が死亡、6人が重軽傷を負った。男性からは呼気1㍑あたり 0.25mg/l のアルコール分が検出された。男性は業務上過失致傷罪と道交法違反（酒気帯び運転）の罪で懲役4年（求刑懲役5年）の判決を受けた。涼香ちゃんの遺族は男性に対しても損害賠償訴訟を起こし、判決は兄2人についても慰謝料計300万円を認めた。

もし、自分の命が代わられるのなら…

二戸市で起きた痛ましい飲酒運転事故から十年が経とうとしています。その事故で自分の命よりも大切な、限りない可能性を持つ娘の命を奪われた大崎礼子さん。礼子さんから当時、そして今の心境をお聞きし、残された大きなつめ跡から、飲酒運転について考えます。

待ち望んだ娘の誕生 ずっと続くと信じていた幸せ

平成五年五月十九日、二戸市に住む大崎さんの家族に、三、二二八^{kg}の元気な赤ちゃんが産声を上げました。

その子の名前は、大崎涼香ちゃん。待ち望んだ娘の誕生にお母さん。礼子さんは、涼風のようにみんなを幸せで包んでほしいと「涼香」と名付けました。かわいい妹の誕生に兄の航君、佑輝君も大喜びです。

大崎さん家族の両親は共働きのため、帰宅が遅くなることもあります。が、休日はいつも一緒に公園で遊んだり、ドライブに出かけたり。兄妹三人も仲良く、すくすくと大きくなっています。

みんなで楽しく過ごしながら、礼子さんは幸せな日々が続くことを信じて疑いませんでした。

いつもと変わらない朝 そして、最後の温もり

平成十二年十一月二十八日、晴れ。いつもと変わらない朝。大崎

さんの兄妹は、いつもどおり起きて、ご飯を食べ、登校です。登校班の子どもたちが自宅の前に集まり、礼子さんは見送ります。

子どもたちが集まつた時、白鳥の群れが頭上の空を舞っていました。子どもたちも礼子さんも空を飛ぶ白鳥を見たのは、初めて。みんな、目を丸くして大喜びです。

登校前、涼香ちゃんは「お母さん、くつが足に当たって痛い」と話す。礼子さんは玄関でくつを脱がせ、くつのへこみを直している間、涼香ちゃんは礼子さんの肩に手を乗せました。それが涼香ちゃんの最後の温もりとなりました。

大崎さんの三人兄弟を含む九人の集団登校班は元気に出発。班長を務める小学六年の長兄・航君は先頭。一年生の涼香ちゃんは後ろから二番目です。「行つ

起きてはいけないことが…
飲酒運転の車が小学生の列へ

—出発から五分後、悲劇が襲い

ました。対向車線の飲酒運転の軽トラックが斜め前から猛然と加速

しました。軽トラックは先頭の長兄・航君

と子どもたちをなぎ倒しながら、

しながら、登校班に突っ込み、次々

と子どもたちをなぎ倒しながら、

軽トラックは先頭の長兄・航君

をかすめ、その後ろの涼香ちゃん

を直撃。次兄の佑輝君は、事故の

瞬間の記憶がありません。覚えて



→涼香ちゃんが事故当時、背負っていたランドセル。大人の力でも、外すことのできない金具が外れ、事故の衝撃の大きさを物語ります。



↑冬が大好きだった涼香ちゃん、「来年の冬も楽しみ」という思いもかなうことはありませんでした。事故直後のクリスマスで兄の佑輝君は「サンタがいるなら、涼香を連れて来ほしい」と話していたそうです。

いるのは、白い鉄のかたまりが目の前に迫ってきたところまで。次の瞬間に、前方で倒れている涼香ちゃんがその目に映りました。自分のけがもかえりみず、駆け寄る直撃を受けた涼香ちゃんのあごの関節は外れ、口中には折れた白い歯がたくさん見えます。小さな体からはたくさん出血し、側溝へと流れ落ちていきます。

佑輝君は涼香ちゃんを抱き、「涼香、涼香」と何度も名前を呼びました。しかし、涼香ちゃんの体は、足がピクッと動き、つばを飲み込むようにのどを動かすと、もう動くことはありませんでした。

受け止めてください 飲酒運転の現実を。

「どうしてうちの娘が…」 受け入れられない現実

「大変だ。娘さんが事故に遭つて大変だ」近所の人が、息を切らし、礼子さんの家に飛び込んで知らせました。

礼子さんは自分で何か重大なことが起きていると直感的に感じました。「もしかしたら娘が手の届かないところに」と不安が走ります。急いで現場に車を走らせました。道は事故で渋滞。車を乗り捨て、赤いヘッドライトが見える現場を目指して走りました。

現場に着くと恐怖とげがで、泣

きじやくる子どもたち。「涼香ちゃんは救急車で運ばれた」礼子さんは誰かの声を聞き、ますます不安が広がり、立つていられないほどに衝撃を受けました。

すぐに行がをした航君、佑輝君とともに救急車で涼香ちゃんが待つ病院へ向きました。

救急室では、涼香ちゃんが真っ青な顔をしていて横たわっていました。呼んでも、ピクリとも動きません。「どうしてうちの娘が…」という気持ちと目の前に突きつけられた現実におびえ、娘に近づくことができません。「後から思えば、娘の近くにいてやれなかつた。



↑冬が大好きだった涼香ちゃん、「来年の冬も楽しみ」という思いもかなうことはませんでした。事故直後のクリスマスで兄の佑輝君は「サンタがいるなら、涼香を連れて来ほしい」と話していたそうです。

ことが今でも深く後悔として残っています。怖くて寂しかったろうに、周囲を振り払っても、せめて自分の胸の中で眠らせたかった」と礼子さんは唇を震わせます。

礼子さんは処置を待っている間、不安と恐怖で押しつぶされそうになり、周囲も目に入らず、気が狂つたように泣きわめきました。医師や看護師に聞いても「今処置しています」の一言だけ。

それから、どれくらいの時間が経つのでしょうか。医師から話があるということで面会すると「助かる見込みはありません」という言葉。するがいで「1%もないのですか」と聞き返しても「1%もありません。ほぼ即死だつたでしょう」という返事でした。現実と分かりながら受け入れず、とても言葉で言い表せない気持ちで生きる気力、意味を見失いました。

娘が处置されている部屋へ通され、長いチューブを挿入された涼香ちゃんに医師が馬乗りになり、心臓マッサージが施されていました。やがて、手を止め、チューブが外されました。

やつとふれることができた娘の体。さつきまで涼香ちゃんの温もりが残っていた礼子さんは、もう冷たくなった体を抱きしめることができませんでした。

《特集》飲酒運転白書

「命のためにできること

靈安室に移り、再度涼香ちゃんと対面すると、涼香ちゃんの顔の右半分は時間を経て、あざとなり、青黒く変色していました。

子どもたちの右前方からの突っ込んだ飲酒運転の車両。想像を絶する強い衝撃と恐怖をその小さな体に受け止めた涼香ちゃんと無言の帰宅をしました。

自分を責める二人の兄

事故に遭い、妹が息を引き取るのを見届けた二人の兄、航君と佑輝君。

事故後、航君は「ぼくが車をよけたから、後ろにいた涼香がひかれてしまつた」と、佑輝君は「事故前に記憶がなくならなければ、車に気付いて涼香の手を引いて、助けることができたかもしれない」と何度も自分を責めました。

「本当であれば、惨劇を目の当たりにした幼い航と佑輝のことを考えて、抱きしめて優しく包んであげれば良かつたと思います。しかし、現実には、わたしも娘を亡くし、失った悲しみがとても大きく、みんながそれぞれの悲しみを背負うだけで精一杯でした」と唇を震わせる礼子さん。

「わたしたちの家族が事故に巻き込まれたのは、偶然かもしれませんでした。

悲しい事故を繰り返さぬよう

のを見届けた二人の兄、航君と佑輝君。

涼香ちゃんが飲酒運転にかかる見付けて、涼香の手を引いて、車に気付いて涼香の手を引いて、助けることができたかもしれない」と何度も自分を責めました。

「がんばってね、大丈夫」という涼香の声が涼香ちゃんは、大好きなお母さんの心の中

ません。しかし、飲酒運転は決して偶然に起きたことではありません」と礼子さんは訴えます。

涼香ちゃんの無念の死を、何かに生かしていかなければならない、娘が亡くなつた現実も忘れてほしくない。二度と悲しい事故を繰り返してほしくないという思いで、同じ境遇の方と手を取り合い、飲酒運転の厳罰化に向けて署名活動に取り組んでいます。

その思いを遂げるため、飲酒運転だけでなく、命の重みを伝える講演などにも出席します。

「大変な時ほど聞こえるんです。『がんばってね、大丈夫』というこの飲酒運転にかかるすべての人が苦しさ、悲しさ、悔しさ、無性に逢いたくなります」と遠い目で振り返ります。

「涼香ももつともつと生きたかったらうし、もしこの命と代わられるのであれば、命のほとんどを差し出したいと今でも思います。そして、残りのほんの少しの命で、もいかから、一緒に生きたかったですね」と唇をかみ締めます。

この飲酒運転にかかるすべての人が苦しさ、悲しさ、悔しさ、辛さ、憎しみをじつと今も抱えて生きています。

今も大崎家の表札には、涼香ちゃんの名前が記され、涼香ちゃんの食事が食卓に並びます。

涼香ちゃんが飲酒運転による事故に遭わなければ、今は高校一年生。娘の同級生に会うと「涼香が生きていたら、どんな服を着てどう話し、どんなふうに生きていたんだろう」と礼子さんはどうしても考えます。

誕生日を迎えた時、おいしいごはんができた時、日々の折々で「涼香ちゃんに



↑取材日の大崎さん宅。涼香ちゃんが「ただいま」と、今にも帰ってきそうでした。

交通事故を起こして、刑務所に収容された人たちが、自分たちの起こした事故の様子、当時や今の心境などを綴った「贖いの日々」という手記があります。

飲酒運転を起こした加害者の手記を紹介し、加害者的心理の変化から飲酒運転の原因や様子を探ります。

特集

飲酒運転白書

「命」のためにできること

運命の別れ道、自ら選択したその先に

平成十七年四月、午後八時半過ぎ、自ら主催した関係機関との宴会も無事終了し、全員をタクシーで送り出しました。わたしもタクシーで帰宅しました。

家の前でタクシーを降りましたが、明日の早朝出勤のことを考え、出掛けるときに自宅近くの事務所に停めてあつた車を取りに行きました。宴席では日本酒二合、生ビール中ジョッキ一杯ほど飲んでいたのですが、まだ大丈夫、家までは五分ほどなのだからと自分勝手に考え、車を

運転してしまいました。
家に近付くと、今度は竣工検査を行った後に控えた能力増強建築工事の進捗状況が心配になりました。酒を飲んでいることも忘れて、家の前を通り過ぎ、工事現場へとハンドルを切りました。五分ほど車を進めるごとに、飲酒と連日の残業の影響か眠気を強く感じ「コトーン」という音で次第に意識が戻ってきました。

「え、今の音は」「何か当たったのか」など考え出すと心の中に黒い影が広がり、なぜか恐ろしくなつて音がした場所へ戻れず、そこから逃げるようになづく警察署へ車を走らせました。警察署に着くとすでに救急車が出動していて、高校三年生の男子がはねられ、重傷だと聞きました。

心の中に 黒い影が広がり

逮捕されたその後、午前三時ごろ、急性硬膜下血腫により亡くなつたと知られ、留置場の中で「人を殺してしまつた」と凍りつきました。

二週間の勾留期間が終わり、保釈されたその足で被害者の家に謝罪に行きました。

被害者の両親の怒りは想

像を絶するもので、子供のために生きていた叫びは、この身を突き破るものでした。当日被害者が着ていた、血で染まり、破れてボロボロになった学生服を叩きつけられ「子どもを返せ」とののしられても答えることができず、ただ涙が流れるばかりでした。

翌日から謝罪のため、自転車で片道四十分ほど掛けて判決の前日まで毎日通いました。被害者の家に着くと、玄関脇

の庭の片隅で正座し、仏壇があるであろう方向に向かつて経本を片手に三十分ほど読経して帰るのです。私が通つたのは百日を超えてました。

妻と母は事故直後から毎日通つておりましたが、母は心労から六月に入院し、七月には妻も体調を崩してしまいました。

九月に下された判決は、危険運転致死罪及び道路交通法違反で、求刑六年のところ懲役四年でした。損害賠償の民事裁判は、翌年五月で和解となり、被害者遺族へは自賠責より三千万円、上乗せ保険より六千六百四十万円が支払われましたが、人の命とは決して釣り合うものではありません。

市原刑務所での受刑生活も残すところ八か月になりました。被害者遺族の心情を考えると、満期で出所することが今の私にできる唯一の償いです。出所してからの償いは、残りの受刑生

活の中でさまざまな指導を受け、被害者遺族にとつても最善の方法を考える所存です。

わたしは被害者の命を奪つたばかりに、被害者や私を取り巻く大勢の人たちに一生消すことのできない傷を負わせ、多大な迷惑を掛けてしましました。わたしの本当の償いは、出所して普通の生活に戻つてから始まります。

飲酒運転やひき逃げなどがますます厳罰化されている中で、被害者遺族が悲痛な声を上げ、わたしたち受刑者がどんなに後悔の言葉を並べても、聞こうとせず、同じような過ちを犯す人が後を絶たないことは、いつまでも以前の自分を見ているよう

でとても辛いです。

M・M 団体職員（47歳）

『贖いの日々』（第44集）—交通事故はもうたくさん！—（財団法人東京交通安全協会 平成二十一年七月発行）より引用しました。

飲酒運転の正体は、「まだ、大丈夫」などと自分勝手な考え方です。それが周囲の人を巻き込んで取り返しのつかない不幸へとつながっています。



自分勝手な考え方を取り返しのつかない事故へつながります。（写真はイメージ）

妻も体調を崩し…

時代に即したアルコールへの考え方を新たに創り、共有することが必要

アルコールが体にどんな作用を及ぼし、なぜ飲酒運転は危険なのでしょう。人間と切っても切れないアルコールと正しく付き合い、飲酒運転をなくすためには。県立一戸病院関山俊弘先生に医学的見地からお話を聞きました。



県立一戸病院は前身の北陽病院を含めて12年目の勤務。「楽しい人生を生きるにはどうしたら良いか」を考えながら、医療に取り組んでいます。

岩手県立一戸病院
関山俊弘 第1精神科長

の体には中毒症状は出ています。摂取したアルコール量に応じて、いろいろな症状が出ますが、自覚しているかどうかにかかわらず、全般的に意識の水準が下がり、判断力や認識力、感情や行動の機能、反応に一過性の症状が生じてきます。一過性とは時間経過とともに回復するし、酒量によつて酔いの状況は変化するということ。アルコールを摂取すると体に吸収され、血液を通して、脳に運ばれます。

脳は日常生活をコントロールする中枢組織。アルコールが脳に運ばることで、脳は自覚がないまま、本来の機能が低下して、支障が生じ、まひ状態になつているわけです。それで、本人はしつかりしているつもりでも、きちんととした運転ができなくなっています。なぜ、飲酒運転が危険かというの、醉つていると、普段われわれが見て、感じて、判断して行つります。

です。飲酒をして一過性の中毒にあら状態の人人がハンドルを握り、事故へとつながっていきます。

急性中毒は、次ページの左図に示したとおり、その段階がありまます。泥酔時に運転することはほぼ不可能です。ほろ酔い、めいてい状態の時に運転できるという意識で運転しようとするのですが、そ

あらためて考えて見ましょう、人と車とアルコールの関係を。

◎飲酒によるめいてい段階とその目安 資料提供：関山俊弘先生

時期 (アルコール 血中濃度%)	酒量の平均的目安	酔いの状況	
爽快期 (0.02 ~ 0.05)	日本酒1合まで	・陽気になる ・さわやかな気分	・判断力がやや鈍る ・皮膚が赤くなる
ほろ酔い期 (0.05 ~ 0.10)	1~2合まで	・ほろ酔い気分 ・抑制がとれる	・手の動きが活発 ・体温上昇／頻脈
めいてい前期 (0.10 ~ 0.15)	3合	・気が大きくなる ・大声が出なくなる	・怒りっぽくなる ・立てばふらつく
めいてい期 (0.15 ~ 0.30)	5合	・千鳥足 ・同じことを何度もしゃべる	・呼吸が早くなる ・嘔気／嘔吐
泥酔期 (0.30 ~ 0.40)	7合~1升	・言葉も滅裂 ・意識混濁	・まともに立てない
昏睡期 (0.40 ~ 0.50)	1升以上	・呼吸は深く緩徐 ・搖り動かしても起きない	・両便失禁 ・死亡

ている行動が、自分はちゃんとしていると思って、脳が本来の能力が発揮できない状況が生じています。だから、飲酒運転は危険なのです。さらに分かりやすく言うと、普段は理性がわれわれの行動をコントロールしているのですが、アルコールはその理性の制御を取り除き、働きが低下します。するとスピード感にスリルを感じるなど、人間らしさから動物的な感覚で物事が見えます。普段は理性で起こさないようなことを起してしまい、取り返しのつかないことに繋ります。それは、飲酒してハンドルを握るという行動からすでに始まっているのです。

アルコールは人と切れない関係

アルコールは、世界共通のもの。ビール、ウイスキー、日本酒など世界各国で親しまれています。地域独特的のアルコールがあり、それを楽しむ文化があります。飲酒運転を考える時、アルコールと人は切っても切れない関係という前提での観点が必要です。

アルコールは、合理的で知的な考えが求められるこの息苦しい世界で、頭の緊張をほぐすときに必要な息抜きを援助してくれます。アルコールは、合理的で知的な考え方と合わせればおいしく食べれ

《特集》 飲酒運転白書 「命のためにできること

るし、楽しく過ごせて、人生の喜びを占めているのも事実です。

度ある文化や意識の醸成を

アルコールは、昔は貴重品でしたが、今は誰でも手に入れることができます。それは車も同じです。しかし、アルコールに対しても度ある文化や意識が成熟していないのが現状ではないでしょうか。酒をたくさん飲めるのが男だという古くから培われた文化意識があります。お酒を体質的に受け入れない人にも無理強いするといつまでもアルコールに対して歯止めが効きません。「この豊かな時代にアルコールとどう付き合つていいかなければいけないのか」、「これまでの考えが今の時代に本当に合うか」と意識を変え、飲む人も飲まない人もともに時代に即した新しい考え方を創り、共有していく必要があります。子どもは大人のやつていていなかった文化や意識は、次世代へと受け継がれていきます。

度ある意識を子どもたちが学び、より良い大人、社会が育つていくと思います。

アルコールへの節度ある意識は、次世代へと受け継がれていきます

と考えが求められるこの息苦しい世界で、頭の緊張をほぐすときに必要な息抜きを援助してくれます。アルコールは、合理的で知的な考え方と合わせればおいしく食べれます。

アルコールは、命のためにできること

◎飲酒運転の市町村別検挙状況

県生活環境部調べ
(平成21年8月1日～12月31日)

順位	市町村名	検挙者数	免許人口	千人当たりの検挙状況
1	一戸町	4	8,241	0.49
2	九戸村	2	4,140	0.48
2	八幡平市	9	18,930	0.48
4	岩泉町	3	6,442	0.47
5	軽米町	3	6,457	0.46
6	大槌町	4	8,925	0.45
7	滝沢村	12	35,701	0.34
7	洋野町	4	11,935	0.34
9	岩手町	3	9,568	0.31
9	釜石市	7	22,943	0.31
11	金ヶ崎町	3	10,775	0.28
11	大船渡市	7	25,297	0.28
13	一関市	15	75,589	0.20
14	宮古市	6	32,864	0.18
14	紫波町	4	22,574	0.18
14	藤沢町	1	5,675	0.18
17	盛岡市	32	184,564	0.17
17	久慈市	4	23,329	0.17
17	矢巾町	3	17,968	0.17
20	北上市	10	60,785	0.16
21	奥州市	11	81,944	0.13
22	遠野市	2	18,284	0.11
22	二戸市	2	18,574	0.11
24	山田町	1	10,666	0.09
24	花巻市	6	66,639	0.09
陸前高田市	-	14,735	0	
零石町	-	12,155	0	
葛巻町	-	4,425	0	
西和賀町	-	4,126	0	
平泉町	-	5,548	0	
住田町	-	3,808	0	
田野畑村	-	2,345	0	
普代村	-	1,867	0	
川井村	-	1,714	0	
野田村	-	3,009	0	
計		158	842,541	

◎飲酒運転検挙者状況（過去10年）

資料提供：二戸警察署

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
岩手県	2,614	2,559	2,635	1,971	1,769	1,589	1,235	585	482	420
指数	100	97.9	100.8	75.4	67.7	60.8	47.2	22.4	18.4	16.1
管内	111	85	81	66	60	47	23	19	19	13
指数	100	76.6	73.0	59.5	54.1	42.3	20.7	17.1	17.1	11.7
一戸町	19	13	9	6	8	12	10	1	6	4
指数	100	68.4	47.4	31.6	42.1	63.2	52.6	5.3	31.6	21.1

※指数とは、平成12年を100として、その推移を数値で示したものです。

思わしくない管内、町の状況

飲酒運転による検挙者数は、平成十二年から二十一年までの十年間を見ると岩手県、二戸管内ともに徐々に減少してきました。

しかし一戸町は、平成十九年に

大きく減少したもの、全体的に県内、管内に比べ、検挙者数は高い水準で推移しています。平成二十一年八月からの調べでは、残念ながら検挙状況で、県内ワースト一位と最も深刻な状況です。

飲酒運転に起因する死亡事故は、全国的に見ると、平成十年に

一二六七件あつたものが、平成二十年には三〇五件となり、十年

前の約四分の一以下に減少してい

ます。

二戸管内での死亡事故発生状況

に目を移すと、平成二十一年は四件だったものが、平成二十一年は八件と倍増し、五年前と同じ状況に戻っているのが現状です。

二戸管内の飲酒運転の特徴は、

昨年の状況を見ると、飲食店などで飲酒して検挙されるよりは、終日飲酒を続け、検挙される事例が多く見られました。

また、検挙者の多くは呼気一リットル中のアルコールが〇・二五mg/l以上

以上の酒気帯び運転が多く、量を多く飲んでいることが特徴です。

検挙者は「事故を起こさないと

思った」「交通手段がなかった」

「ちょっと買い物に」などと話す

ことが多く、軽い気持ちでハンドルを握っているようです。

飲酒運転が生み出るのは、憎しみだけ。もう、加害者も被害者も出したくない。

岩手県二戸警察署
佐々木治交通課長

昨年、交通機動隊二戸分駐隊（一戸町）から二戸警察署に異動。自治体や学校などに赴き、交通安全に関する講話など積極的に活動を展開する。

《特集》 飲酒運転白書

「命」のためにできること



町消防団は昨年8月、飲酒運転撲滅誓約書を二戸警察署に提出しました。

年々厳しくなる罰則 行政処分

平成十九年九月に、飲酒運転とこれを助長する行為に対しても厳罰化した改正道路交通法が施行され、飲酒運転本人に対する罰則の厳罰化とともにそれを助長したも

のに対しても、新たに罰則を適用酒をしない場合に比べて八・二倍酒酔い運転の死亡事故率は同じく二六・八倍と重大な事故につながる可能性が著しく高くなります。



ようこそ奥中山へ 最高のステージを心を込めて



武田昇運営委員長は「大会は地域を盛り上げ、子どもたちを応援しようと地権者の協力をいただいて始めたもの。大会一週間前から始まるコースづくり、大会前日にはスタッフがコースや会場の仕上げをします。大会は参加者も増え、けがや事故なく無事に終えようとしています。ここまでできることを地域の誇りとし、今後も皆で力を合わせて続けたい」と話します。

競技終了後には、協賛する地元の二十四企業が出し合う記念品が全員に当たる大抽選を行います。

そこには「子どもたちに楽しい思い出を何か一つでも持ち帰つてほしい」という地域の大きな深い愛情があふれています。



白銀の世界で輝け
冬の申し子たち



①ゴールを目指して疾走する選手。
②大会後、子どもたちお待ちかねの大抽選会。会場には笑顔が広がった。
③表彰式の様子。アットホームな雰囲気で入賞者をたたえた。
④～⑬それぞれの立場で白い息をはき、大会を支える地域の大会運営スタッフ。
⑮・⑯は奥中山中学校ボランティアスタッフ。
⑯たくさんの声援を受けて奮闘する奥中山中学校の選手たち。
⑯コースの設営は大会2週間前から、当日は朝4時から入念に準備が進められた。機械は協賛企業が提供。(2月16日撮影)



子どもたちへの愛情を
地域のつながりで形に

第3回 奥中山高原
クロスカントリースキー大会 2010



開会式では奥中山高原スポーツ少年団の田頭森治主将が「このすばらしい大会を準備してくれた地域の皆さんに感謝の心を持って戦うことを誓います」と力強く選手宣誓。大会の特長は、地域住民がスタッフとして大会を企画、運営すること。当日は老若男女八十人の地域住民、奥中山学校の野球部、バスケットボールチームが、大会を成功させようと集結、それぞれの立場で大会を支えました。



第

三回奥中山高原クロス
カントリースキー大会

二〇一〇が奥中山高原摺糠地区特設コースで二月二十日に行われました。この大会は、同大会実行委員会と総合型地域スポーツクラブ「奥中山高原クラブ」が主催していました。大会には町内外の小中学生二百九人の選手がエントリー、八つのクラスに分かれて、日ごろ鍛えた健脚を競い合いました。

効率的な農地利用へ弾み 地域活性化の起爆剤へ 小友地区農用地利用規程認定書が交付

小友地区の農地所有者で組織する小友地区農用地利用組合（内村和則組合長）が町から農用地利用改善団体に認証され、二月二十二日、役場で認定書交付式が行われました。

農用地の利用調整や農作業の効率化などが目的で町内では宇別農用地利用組合に続き、二つ目の組合が誕生しました。

同組合は昨年七月同地区の農用地所有者六十七人で設立。組合規約や利用規程の承交付式には組合の役員四人が出席し、稻葉町長が認定書を手渡しました。



表彰状、感謝状を手に喜びの表情の柴田勉さん㊨と大畠フミさん㊧

活躍する農林水産業の担い手 大きな栄誉を新たな励みに

柴田勉さんに表彰状、大畠フミさんに感謝状

平成二十一年度二戸地方農林水産業振興大会が二月十日、二戸パークホテルで行われました。大会では柴田勉さんが二戸地方農林水産振興協議会長賞の意欲ある担い手賞を、大畠フミさんが葉たばこ部門で三戸地方振興局長感謝状を受賞しました。

柴田勉さんは切り花用「りんどう」の計画拡大を図り、平成二十一年度の販売額が町の生産者の中で最高位となるなど、中山間地域の水田再編、地域農業の目標的経営になつていることなどが評価されました。柴田さんは「專業農家となつてわずか五年でこのような賞をいただき、励みになります。若い生産者が活躍できるよう尽力したい」と話しました。

大畠フミさんは県たばこ耕作組合代議員などで

長年活躍し、技術普及や品質管理などの活動が評価されました。大畠さんは「今年の葉たばこは、町全体としても良い評価を出せました。担い手の高齢化が進んでいますが、生産を維持ができるよう指導に力を入れたい」と意気込みを見せました。



認定書を手に気持ちを新たにする内村和則組合長

地区的農用地所有者六十七人で設立。組合規約や利用規程の承認を行いました。

内村組合長は「地域の人とともに輪を広げ、農業だけでなく他の分野へも効果を波及させ、地域活性化の起爆剤となるようがんばっていきます。それがわたしたちの生きる道だと思いまます」と意気込みを話しました。



写真左から土川澄夫さん、内村組合長、山本隆之さん、東山進市さん

なじみの顔がそろい、輪ができて みんなで楽しみ、みんなで喜ぶ 食改と健康福祉課の共催、宇別で健康教室

食生活改善推進協議会（柿木洋子会長）と健康福祉課の共催による健康教室が元宇別保育所で二月十六日に行われ、地域から約三十人が参加しました。

最初に参加者はいちのへ文化・スポーツNPOの上山智恵美さんを講師に体をほぐし、軽

洋子会長と健康教室の共催による健康教室が元宇別保育所で二月十六日に行われ、地域から約三十人が参加しました。

最初に参加者はいちのへ文化・スポーツNPOの上山智恵美さんを講師に体をほぐし、軽

スポーツに取り組みました。昼食は地域の食生活改善推進員が腕によりをかけたちらしづなど。参加者からは「少し早いひなまつりだね」とうれしそうな笑顔が見られました。

昼食後は栄養士から栄養について、保健師から健康や病院の利用の仕方などについてのお話をしました。

西館かつ江食改員は「毎年、農閑期の冬に教室を企画して今年で三回目。みんなで楽しめて笑えることがうれしいです」と満面の笑顔で話しました。



①お待ちかねの食事。会話も弾みました。②昼食後には、心の健康を考える紙芝居（傾聴ボランティア「ほほえみ笑・笑・笑」作成）を行いました。



e-Taxをアピールする山田登二戸税務署長



e-Taxをアピールする山田登二戸税務署長

所得税の確定申告受付が始まりました二月十六日、稻葉町長が役場で国税電子申告・納税システム（e-Tax）を利用して申告し、手続きの迅速性をアピールしました。

稻葉町長は、庁舎内に設置されている専用パソコンで税務町民課の田中由紀子主任に助言を受けながら、申告書を作成し、五分ほどで送信しました。

このシステムを利用すれば自宅のパソコンから申告が可能。三月十五日までの期限内に申告すると、所得税額から最高五千円の控除が受けられます。（前に一度控除を受けた方は受けられません）。

山田登二戸税務署長は「このシステムはとても使いやすく、自動計算機能が搭載され、計算ミスもありません。ぜひ、どんどん活用してください」と話しています。



笑 みんなの楽しみ。国際交流協会の旧正月を祝う会 顔は国境を越えて

町国際交流協会（下田和夫会長）は旧正月を祝う会を2月14日に町民文化センターで行い、およそ60人が参加しました。これは町に住む外国の方とともに旧正月を祝うことで国際交流の和を広げることを目的としたものです。

中国やベトナム、日本など国際色豊かに彩られた会場には、同じくそれぞれの郷土料理が並びました。3カ国の代表者がそれぞれの言葉で乾杯の発声をし、参加者は会話と食事を楽しみながら、親交を深めました。

ベトナムから来町して3年目というビックさんは「一戸町は寒いけど、優しい人が多くて楽しいです」と旧正月を楽しんでいるようでした。

国際色豊かな乾杯で、参加者の表情はみんな笑顔でした。

駅 カシオペア地域鉄道模型研究会がミニ運転会 の待合室で出発進行 !!

二戸地域の鉄道愛好家らで組織するカシオペア地域鉄道模型研究会（江上博司代表、会員18人）はIGRいわて銀河鉄道一戸駅で鉄道模型ミニ運転会を開き、2日間で約170人が訪れました。

町を走るIGRいわて銀河鉄道の車両やコンテナ貨物、町内に国鉄の機関区があった時に在籍していた懐かしのD51蒸気機関車などの模型を走らせ、「鉄道の町・一戸」の魅力を発信しました。

二戸市から訪れた矢田匠くん（7歳）「模型が走るのが速くてびっくりしました。電車は見るのも乗るのも大好きで昨日も来たんですよ」と大喜びで模型に見入りました。



試運転会には老若男女が訪れ、思い思いに模型が走るのを楽しみました。



今 恒例の奥中山高原菜魚湖のわかさぎ試し釣り 年も大漁御礼です

上馬淵川漁業協同組合は、大志田ダムの菜魚湖で奥中山高原ワカサギの試し釣りを2月4～14日の11日間行いました。これは4年前に岩洞湖の協力を得てワカサギを放流したものを、個体数や釣果などを調査するために期間と時間、区域を限定して1人500円の協力金をいただいて、実施したものです。試し釣りを行った11日間で来場者は東北各県から7,023人でした。

2月12日、滝沢村から家族とともに訪れた原田徹さんは「大自然の中でのんびりしながら、釣りを楽しむのはとても良いリフレッシュになります。来年もまた来たいと思います」とうれしそうな笑顔で話しました。

ワカサギを釣り上げた原田さん。「ちょっと、小さかったかな」と苦笑い。

鳥海地区で中学生が「大志を抱く会」 志を胸に、思いを言葉に込めて。

鳥海地区振興会（東山智会長）と同地区公民館（春日川寛治館長）は2月14日、「大志を抱く会」を開き、鳥海中学校（吉田覚校長、生徒28人）の2年生7人が将来に向けた誓いを立てました。

この会には保護者や地域住民たち約35人が参加。東山会長が「15歳は人生を考える大切な時、この機会に自分の将来を考え、夢や希望を発表してほしい」とあいさつをしました。

生徒たちは1人ずつ目標を記した色紙を手に力強く発表し、出席者は生徒一人ひとりに大きな拍手を送りました。発表後は元鳥海小学校長の折館一男さんが「大人になること」と題して講演し、未来へ進む生徒たちへ激励のメッセージを送りました。

発表を終えた柴田恭輔さんは「今日は緊張しましたが、仲間もいて心強く、一歩大人になれたかなと思いました。このような場を作っていたい皆さんに感謝しています。大人になるまで、そして、それからもたくさん輝きたいという思いを込め『輝』と色紙に記しました。その思いのためには自分から積極的に挑戦をしていきたいです」と目を輝かせて話しました。



自分の志を地域の皆さんに発表する男子生徒。



④女子生徒の発表。⑤学校歯科医の小野寺満先生も生徒にエールを贈りました。

本 第55回青少年感想文全国コンクールにW入賞 !! との出会い、感動を刻んで

第55回青少年読書感想文コンクール（社団法人全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催、内閣府文部科学省後援）が行われ、町から東山慧美さん（鳥海中学校3年）の作品『走る—私に教えてくれたこと』と、瀧澤諒くん（一戸小学校3年）の作品『見えてきた蚊の秘密』が入選しました。

東山慧美さんの作品は、同コンクール岩手県大会で最優秀賞を受賞し、全国コンクールへ出品されました。

慧美さんは「最初はあまり実感がわきませんでしたが、今はうれしいです。本を読んでつらいことがあってもできると勇気付けられました。同じく陸上に取り組む立場から共感できる部分を書きました」と感想を話しました。

瀧澤諒くんの作品は、同コンクール岩手県大会で岩手県教育委員会教育長賞を受賞、同じく全国コンクールへと出品されました。

諒くんは「賞状をもらい、お母さんも『すごいね』と言ってくれて、すごくうれしいです。感想文は、お祭の太鼓練習を行った時にたくさん蚊に刺されたので、蚊のことを知りたいと本を読み、書いたもの。本を読むことは、とても好きで月に20冊くらい読んでいます」と賞状を手にうれしそうに話しました。



賞状を手にほほ笑む④東山慧美さん（鳥海中3年）と⑤瀧澤諒くん（一戸小3年）





★ 一等星

佐藤 充さん
(さとう・みつる)
県立一戸病院勤務
22歳

「一戸はのどかな町で人も優しく気持ちが和みます」と
一戸町の印象を語る佐藤充さんは社会人一年生、一戸病院精神科病棟の看護師だ。

「わたしは病気がちで小学四年の時に入院しました。両親は共働きで忙しい中、担当の看護師がとても気遣つてくれ、すごくうれしかったのを覚えていました」と話す。

「一戸はのどかな町で人も優しく気持ちが和みます」と
一戸町の印象を語る佐藤充さんは社会人一年生、一戸病院精神科病棟の看護師だ。

自分がそうありたいと進んだ看護師の道。「精神科のため、患者さんの症状は、はつきりと目に見えません。しかし、患者さんの気持ちの中に自分の存在を感じ、感謝の気持ちが伝わつてくるとやりがいを感じます」と充さん。

これからも患者さんの身近に

な存在として悩みや不安に耳を傾け、寄り添つていけるような看護を目指していく。
夜勤などに体がまだ慣れないため、休日はゆっくりと過ごすことが多いという。
今日の勤務は夜勤。「今日もがんばります」と充さん。

Qタイプは? — 笑顔がすてきな人

患者さんの気持ちの中に自分の存在を感じ、感謝が伝わつてくるとやりがいを感じる。

広報クイズ

~一戸町共通商品券~
(1,000円分)
3人にプレゼント!

先月号の当選者は、伊藤舞さん(岩館馬場平)、高間木美智子さん(平穂高間木)、土川孝子さん(高善寺蒼前久保)。おめでとうございます。

◎広報クイズです。
▼問題 今号の特集で取り上げた皆さんで声を挙げ、取り組んでいきたい問題は何でしょうか?
「〇〇運転」
ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢(学校名、学年)、電話番号を記入し、
〒028-15311
一戸町高善寺字大川鉢
(三月三十一日締切り)
※余白に町政へ提言など自由にお書きください

♪一歳になったよ♪

— 4月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!! ご希望の方は3月26日までに広報までご連絡願います

♪一歳になったよ♪

駒木 想ちゃん
(中山上家向)
平成20年11月15日生まれ
お父さん 徹也さん
お母さん 笑里さん
お父さん、お母さんから一言
明るく元気に育ってね♥



川村 桃花ちゃん
(高善寺大川鉢)
平成21年2月23日生まれ
お父さん 昭博さん
お母さん 明子さん
お父さん、お母さんから一言
明るく元気に育ってね♥



田頭 翔太ちゃん
(小鳥谷小性堂)
平成21年2月24日生まれ
お父さん 茂美さん
お母さん 留美さん
お父さん、お母さんから一言
たくさん食べて大きくなつてね♥



宮本 彩里ちゃん
(中山上家向)
平成20年12月19日生まれ
お父さん 隆太さん
お母さん 沙織さん
お父さん、お母さんから一言
笑顔が大好きです♥

■鳥海小学校 スキー教室

がんばっています、小学校スポーツ活動

参加者 児童(1~6年)50人 保護者40人



◎今回が初参加、千葉新也校長先生に感想をお聞きしました。

児童も保護者の皆さんもみんな楽しそうで、とても良い思い出になつたと思います。わたしは初参加ですが、子どもたちのスキーの上達の早さにはびっくり。このスキー教室はPTA行事としても組まれていて、児

童へのスキー指導のほかにも、スキーをしない保護者の方には昼食の準備をしていただくななど、本当に皆さんの献身的な協力のおかげで教室ができるていることを実感しました。皆さん、本当にありがとうございました。

町の文化

短歌

祝い膳篤姫みたいと孫たちの
声喜々として漆器並べる
冬の風障子の窓を打ち吹きて

部ひな啄木母校床板粗き
あびたる温泉駅の百年祭

後客二人手を焼りをり
思はざるデュエットを決めわが横に

生かされてまた逢ひえたる初詠経

雪降れば遠い記憶のいろり火に
祖父母の顔が重なりて見ゆ

駅ホーム亡母に似し人腰かけぬ
抱く思ひに言葉かけたり

石段を上りて詣づる龍王殿
逆らはず激む流れに浮寝鳥

嬉しみて葉付きの密柑買ひにけり
健やかの一字記せり初日記

雁の列大志田ダム湖へ降りにけり
残照や冬枯れの木々晒し出す

駅ホーム亡母に似し人腰かけぬ
雪降れば遠い記憶のいろり火に

石段を上りて詣づる龍王殿
逆らはず激む流れに浮寝鳥

嬉しみて葉付きの密柑買ひにけり
健やかの一字記せり初日記

雁の列大志田ダム湖へ降りにけり
残照や冬枯れの木々晒し出す

一月短歌・俳句会
会場 小鳥谷地区公民館

運動公園だより

もうすぐ春ですね♪ はじめましょう！ 続けましょう！ 運動・スポーツのある暮らし

心身の両面で豊かな暮らしをするためにも、それぞれのライフスタイルに合った運動習慣が重要であることは、多くの方がご存じだと思います。しかし「分かっているけどなかなかできない」というのが現状のようです。

今回は、そのような方のために、町の体育協会、スポーツ

【種目別体育協会】(18 協会)

- 軟式野球協会 (☎ 31-1065 / 久保)
- 卓球協会 (☎ 33-2111 / 昆)
- バレーボール協会 (☎ 33-2111 / 猪股)
- バスケットボール協会 (☎ 33-2111 / 稲葉)
- 柔道協会 (☎ 33-2111 / 常前)
- 剣道協会 (☎ 33-2111 / 篠畑)
- 弓道協会 (☎ 32-3700 / 米田)
- 陸上協会 (☎ 33-4444 / 西館)
- スキー協会 (☎ 35-3425 / 西館)
- 山岳協会 (☎ 33-2111 / 和多田)
- クレー射撃協会 (☎ 33-3193 / 柴田)
- ライフル射撃協会 (☎ 33-4123 / 阿部)
- ソフトテニス協会 (☎ 33-2111 / 東澤)
- ゲートボール協会 (☎ 33-3667 / 一守)
- ターゲットバードゴルフ協会 (☎ 33-3286 / 高畠)
- ペタンク協会 (☎ 35-2024 / 永田)
- 硬式テニス協会 (☎ 33-2111 / 佐藤)
- ゴルフ協会 (☎ 33-2733 / 相馬)
- 一戸町体育協会事務局 (☎ 33-4444 / 西館)

31-1400 休館日 3月 15・29日 4月 5・12日 開館時間 火～金 10:00 ~ 19:00 * 3月 23日(火)は 10:00 ~ 17:00 土日祝 9:00 ~ 18:00

図書館だより

今日は読書びより ●成人・卒業を迎え、新たな一步を踏み出す方へおすすめの本をご紹介。

『神去なああ日常』 三浦 しづん／著
徳間書店／刊、2009年

高校卒業と同時に三重県の山村に放り込まれた平野勇気 19歳。林業の現場に生きる人々の1年間のドラマと勇気の成長が描かれた小説です。

『この世でいちばん大事な「カネ」の話』 西原 理恵子／著
理論社／刊、2008年

一人暮らしや社会人になって、自分で管理するお金。本書では、作者自身の幼少時から親になっての「カネ」にまつわる実体験が書かれています。

3月の図書館展示企画

- 「心機一転」
- 子どもの本の特集は「戦争（東京大空襲）」

読んでみて 無限の楽しさ 胸いっぱい (平成 20 年度読書推進標語奨励賞作品)

Sports

少年団、総合型地域スポーツクラブを紹介しますので、運動やスポーツをこれからはじめたい人・継続したい人、各種大会や交流会に参加してみたい人、健康づくりや仲間づくりをしたい人は、下記までお気軽にお問い合わせください。

記載は「団体名（事務局連絡先／担当者名）となります。

【単位スポーツ少年団】(10 団体)

- 一戸剣道スポーツ少年団 (☎ 32-3151 / 松館)
- 一戸町柔道スポーツ少年団 (☎ 33-2111 / 常前)
- 奥中山高原スポーツ少年団 (☎ 35-2148 / 大欠)
- 一戸野球スポーツ少年団 (☎ 33-2686 / 小森)
- 小鳥谷五月館剣道スポーツ少年団 (☎ 34-2088 / 仁昌寺)
- 一戸スキースポーツ少年団 (☎ 33-3028 / 柴田)
- 一戸町卓球スポーツ少年団 (☎ 33-2111 / 昆)
- 一戸南スキースポーツ少年団 (☎ 33-3071 / 鈴木)
- 一戸町ソフトテニススポーツ少年団 (☎ 33-4160 / 松尾)
- 一戸町バレーボールスポーツ少年団 (☎ 33-2155 / 西野)
- 一戸町スポーツ少年団本部事務局 (☎ 33-4444 / 外岡)



【総合型地域スポーツクラブ】

- 奥中山高原クラブ (☎ 33-4444 / 中嶋)
- いちのへサンビレッヂクラブ (☎ 33-4444 / 西館)

Books

図書館の活動を紹介します

●出前図書館

出前図書館とは、図書館から出向いて「ブックトーク・講座・学校図書館環境整備等」を行う事業です。

2月4日には軽米町立図書館で「図書資料修理」の講師を務めました。

今回の対象は、図書館ボランティア、学校・保育関係者が中心で、皆さんとても真剣に取り組んでいました。



●ブックトーク

2月5日、一戸町立鳥越小学校で「ブックトーク」を行いました。

ブックトークとは、「本の紹介」です。テーマに沿った本を選び紹介し、読書への興味を喚起し、幅を広げることを目的としています。今年度（2月現在）は、町内外の学校で20件行いました。これからも図書館では、読書推進活動のお手伝いをしていきます。



3月のイベント

- | | |
|------------|--------------------|
| ・おはなし会 | 3月 13 日(土) 10:30 ~ |
| 対象：幼児から小学生 | |
| ・とことこおはなし会 | 3月 16 日(火) 11:00 ~ |
| 対象：3～5歳児 | |
| ・としょかん映画会 | 3月 27 日(土) 11:00 ~ |
| 対象：幼児から小学生 | 「おれたちともだち」約 26 分 |

Support

地域包括支援センターだより

～こんにちは、一戸町地域包括支援センターです～

《市民セミナー「この町で、安心して、ずっと、暮らしたい」》

住民の方を対象とした市民セミナーが下記のとおり開催されます。「権利擁護」や「成年後見制度」などは、聞きなれない言葉ではないでしょうか。

高齢になっても、障がいがあっても、『安心』した生活をできるようにさまざまな制度があります。今回のセミ

ナーで、講演や演劇を通して、制度を少しでも身近なものに感じていただければと思いますのでご参加ください。

セミナーの内容などについてご不明な点がある時は、お気軽に地域包括支援センターまで (☎ 32-3700) お問い合わせください。



・渡辺哲雄氏

▶ラジオ番組のご紹介
市民セミナーの内容などについての番組が放送されます。
■カシオペア FM (77.9 MHz)
■3/12.15.16.17.18 15:15 ~ 15:30

■日時：3月 19 日(金) 13:30 ~ 16:30

■場所：二戸市民文化会館 中ホール
(二戸市石切所狼穴 1-1 ☎ 0195-23-7111)

■内容：☆講演「認知症になった波平 Part 2 ~契約社会と成年後見~」

講師：NPO 法人東濃成年後見センター 理事長 渡辺哲雄氏

☆演劇で知る成年後見制度

演題「大好きな町で暮らしたい～友蔵さんの一日～」

劇団 友蔵と仲間たち（一戸町地域包括支援センタースタッフ）

☆報告「成年後見に関するニーズ調査結果」

報告者 カシオペア権利擁護等事業推進委員会

■対象者：一般住民、福祉関係団体職員、その他権利擁護に関心のある方

■参加費：無料

32-3700 保健係・福祉係・児童係

Health

総合保健福祉センターだより

こころの健康

近年、自殺による死亡が全国的に増加しています。日本では毎年3万人以上が自殺し、世界でも高い自殺率となっています。1人の自殺は、周囲の5～6人に深刻な心理的影響を与えるといわれており、大変な社会問題となっています。

＜こころの相談窓口紹介＞

～こんな時は気軽に相談しましょう。～

①「前のようにうまく働けない」「眠れない」「自分はいない方がいいと思う」「疲れがとれない、体調が悪い」→このような状態が半年以上続いているとき。

②同僚や身近な人の様子が以前と違い、日常生活に支障が出てきているとき。

- ・一戸町総合保健福祉センター ☎ 32-3700 ・二戸保健所 ☎ 23-9206
- ・県立一戸病院 ☎ 33-3101 ・こころの健康相談統一ダイアル ☎ 0570-064556
- ・お金の悩みホットライン ☎ 0120-979-874

＜各家族会などの紹介＞

～同じような体験・思いを分かち合う～

- ・一戸町精神障がい者家族会 ☎ 32-3700 ・家族介護者交流会 ☎ 32-3700
- ・こころサロン二戸（自死遺族交流会） ☎ 23-9206
- ・りんどうの会（自死遺族の会） ☎ 019-629-9617 代)

※詳細は保健福祉センターへお問い合わせください。

＜二戸地区傾聴ボランティア「ほほえみ 笑・笑・笑」活動＞

岩手県は全国でも自殺率の高い県で、中でも二戸地区は県内で最も高い地区です。そのような中、耳を傾ける、心を込めて聞くことで孤独を感じさせない、明るい地域づくりを目指して活動しています。皆さん、遊びに来てください。

- ・定期活動：野田坂お休み処…1・11・21日（市日に合わせ）10:00 ~ 12:00
- ・開始予定：高齢者創作館…4月から第3木曜日 13:00 ~

■保健カレンダー

- ・2歳6ヶ月児歯科健診
3月 25 日(木) 13:00 ~ 保セン
- ・乳児・1歳児健診
4月 6 日(火) 13:00 ~ 保セン
- ・1歳6ヶ月児歯科健診
4月 13 日(火) 9:15 ~ 保セン
- ・ポリオ予防接種
4月 7・14 日(水) 13:00 ~ 保セン
- ・メタボ・ヘルスアップ教室開催中！
対象者には、連絡がいきます。
一度の参加でもよろしいですから、ご自分の健康のためにも、ぜひ参加してください。
- ・こころの悩み事相談：必要により専門医が相談に応じますのでご連絡ください。
- ・助産師による妊婦・産婦・新生児の家庭訪問と栄養士による栄養相談・家庭訪問を行っています。

詳しくは保健係 (☎ 32-3700) まで

まちの お知らせ ひろば1

問=問合せ、申込み先

町内会で取り組む介護予防活動を支援します。

地域で介護予防に取り組む「町内会」などを健康福祉課と二戸地区広域行政事務組合が連携して応援します。

内容は下記のとおりです。詳細はお問い合わせください。

■支援対象活動

- ・介護予防のための健康、生きがいづくり活動
- ・介護予防のための知識や技術などを習得するための講座等の開催
- ・介護予防に関する地域住民の意識の啓発を図るための座談会などの開催
- ・その他、介護予防に資する活動

■支援内容

- ・補償対象経費の10分の8以内で上限を3万円とし、予算の範囲内で助成します。

- ・活動スタッフや講師の調整など

■支援対象者

介護予防活動に取り組む町内会、自治会など

■補助期間

申請が認められた日から平成23年3月31日まで

■申込期間 第1次申込

3月15日～4月23日まで

問 健康福祉課 福祉係

☎32-3700 内線606



宇別で2月16日に行われた健康教室の様子。

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、国家公務員採用Ⅰ種試験及びⅡ種試験(大学卒業程度)を実施します。

【Ⅰ種試験】

インターネットによる受付期間は4月1日～3日まで、郵送による受付期間は4月1日～8日まで(受付最終日の通信日付印有効)で、第1次試験は5月2日に行います。

【Ⅱ種試験】

インターネットによる受付期間は4月10日～14日まで、郵送による受付期間は4月12日～21日まで(受付最終日の通信日付印有効)で、第1次試験は6月20日に行います。

なお、申込用紙の請求や受験資格などの詳しい内容については、人事院ホームページまたは下記にお問い合わせください。

問 人事院東北事務局 第二課 試験係
☎022-221-2022 HP <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

国家公務員「国税専門官採用試験」(大学卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

仙台国税局に採用されると、税務大学校で研修を受けた後、仙台国税局管内(東北6県)の税務署に配置されます。

■受験資格

1 昭和56年4月2日から
平成元年4月1日生まれの者

2 平成元年4月2日以降生まれの者
で次に掲げるもの

(1) 大学を卒業した者及び平成23年3月までに大学を卒業する見込みの者

(2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

■受験申込受付期間

4月1日(木)～14日(木)まで

■受験申込書の請求

最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課または人事院東北事務局

問 仙台国税局人事第二課 試験研修係
☎022-263-1111 内線3236

国民健康保険(国保)の加入・変更手続きについて

問 税務町民課 ☎33-2111 内線115

国民健康保険(国保)の資格に異動があるときには、14日以内に届出が必要です。手続きは役場税務町民課または各支所で行ってください。

手続きが必要なとき	届出に必要なもの
国保に 入る とき	他の市町村から転入してきたとき 転出証明書、印鑑
	他の健康保険をやめたとき 健康保険をやめた証明書、印鑑
	子供が生まれたとき 保険証、母子健康手帳、印鑑
	生活保護を受けなくなったとき 保護廃止決定通知書、印鑑
国保を やめる とき	他の市町村へ転出するとき 保険証、印鑑
	他の健康保険に加入了したとき 国保の保険証、新たに加入了した保険証、印鑑
	国保加入者が死亡したとき 保険証、死亡を証明するもの、印鑑
	生活保護を受けたとき 保険証、保護開始決定通知書、印鑑
その 他	住所・世帯主・氏名が変わったとき 保険証、印鑑
	保険証を紛失したとき 身分を証明するもの(免許証、旧保険証等)、印鑑
	退職者医療制度に該当したとき 保険証、年金証書、印鑑
	就学のため子供が他の市町村に住所を定めたとき 保険証、在学証明書、印鑑

特定健診の個別受診にかかる費用の助成について

町では、特定健診の実施義務がある40歳～74歳までの町国民健康保険加入者で下記に該当する方に対し、費用の一部を助成します。

■対象要件

毎年度4月1日時点で町国民健康保険に加入し、特定健診に相当する健康診断を病院などで独自に受診された方(町実施の集団検診や農協の人間ドック受診者は除く)。特定健診の基本項目を検査していれば、「相当する健康診断を受診した」とみなします。

■特定健診の基本項目

①既往歴調査②自覚症状及び他覚症状の有無③身長・体重・腹囲・BMI測定④血圧の測定⑤肝機能検査⑥血中脂質検査⑦血糖検査⑧尿検査

■申請方法

上記項目の結果が分かる検診結果票と費用の領収書をお持ちの上、総合保健福祉センター窓口までお越しください。

問 健康福祉課 保健係
☎32-3700 内線610

税務署からのお知らせ

個人から財産をもらったときは贈与税、土地、家屋、株式などの資産を譲渡し利益が発生したときには所得税の申告が必要となります。

これらを申告するための申告書などの用紙は、税務署の窓口に備付けておりますが、ご自宅や事務所のパソコンでインターネットをご利用であれば、国税庁ホームページの「申告・納税手続」の「確定申告等情報」から申告書用紙を印刷することができます。

そのほか、国税庁ホームページの「確定申告等作成コーナー」では、画面の案内に沿って金額などを入力することにより、贈与税または所得税の申告書が自動計算で作成でき、印刷すればそのまま税務署に提出することができます。

所得税のデータは、電子申告(e-Tax)送信用のデータとして利用することができますので、ぜひご利用ください。

問 税務町民課 国保係
☎33-2111 内線116

協会けんぽ(全国健康保険協会)の保険料率改定について

協会けんぽ(全国健康保険協会)の健康保険料率は、平成22年4月に納付する保険料から改定されます。岩手県では9.32%となります。

協会けんぽは今年度、医療費増加などにより6,000億の赤字が見込まれ、国は補助金増額の対策を取る予定ですが、財源には限りがあります。

今後は医療費支出を適正化し、加入者の皆様の健康増進や疾病予防を一層推進していくことで、保険料負担増加への理解につきまして、よろしくお願いします。

問 協会けんぽ岩手支部 ☎019-604-9009

いわて農業入門塾受講生募集

県内在住の就農希望者を対象に、農業の知識や野菜の栽培方法などの研修を行います。

■募集期間 3月8日(月)～4月5日(月)

■日程 5月8日(土)～10月23日(土)
毎週土曜日 13:00～15:30 開講

■経費 10,000円(教材費、損害保険料)

■申込方法 官製はがきまたはFAXに【必要事項】住所、氏名、年齢、性別、職業、連絡先(電話、FAX)、農業体験の有無、就農希望の有無、農地の有無(面積)を記入し、下記まで送付ください。県HPからも申し込みできます。

問 〒029-4501 胆沢郡金ケ崎町六原
蟹子沢14 県立農業大学校
☎0197-43-2211 FAX 0197-43-31

医療費助成の更新について

町では、乳幼児、妊娠婦、重度心身障害者、母子家庭、寡婦医療費助成事業を行っています。

例年ですと更新申請書を提出していただいておりますが、今年度からは、更新手続きを自動で行うことになりましたので、申請書の提出は不要となります。更新内容に確認が必要とされる一部の方につきましては、こちらから更新申請書を送付しますので、提出をお願いします。

所得税のデータは、電子申告(e-Tax)送信用のデータとして利用することができますので、ぜひご利用ください。

問 税務町民課 国保係
☎33-2111 内線116

#数字で見る一戸町 Ichinohe

町の"今"を数字で見ます

事故(1月分)

人身事故 3件(前月4件)

死者 0人(前月1人)

傷者 4人(前月3人)

物損事故 31件(前月24件)

犯罪(1月分)

刑法犯総数 3件(前月2件)

うち侵入窃盗 0件

うち乗物盗 0件

うち非侵入窃盗 2件

火災・救急(2月分)

火災 1件(前月1件)

救急 48件(前月47件)

急患(県立一戸病院 1月分)

時間内 18件(前月18件)

時間外 284件(前月266件)

ごみ(2月分)

排出量 237トン(前月280トン)

町民1人1日 428グラム(165グラム)

人の動き(1月分:前月比)

人口 14,794人(-27人)

男 7,130人(-12人)

女 7,664人(-15人)

世帯数 5,817世帯(-3世帯)

転入 13人(13人)

転出 18人(18人)

死亡 24人(24人)

転入・転出・死亡は1月からの累計



まちの お知らせ ひろば2

[問] = 問合せ、申込み先

3月

14日(日) 奥中山地区子ども雪合戦大会
奥中山小学校
10:00~12:00

16日(火) とことこお話会
町立図書館
11:00~12:00

19日(金) オパール大学
奥中山高原温泉
10:00~12:00

23日(火) 春休み特別開館日
町立図書館
10:00~17:00

27日(土) としょかん映画会
コミュニティセンター
11:00~11:30

4月

1日(木) 総合運動公園オープン
総合運動公園
9:00~21:00

5日(月) 特定検診開始
※場所は後ほどお知らせします
9:00~

今月の一枚



i ショップホームページ <http://waza.town.ichinohe.iwate.jp/>

※携帯電話で左のバーコードを読み取るか、上記の URL からご覧ください

お知らせ / Infomation



町民農園・サンビレッジガーデン 利用者の募集について

家族や仲間で野菜や花づくりにチャレンジしてみませんか。総合運動公園隣接地の町民農園の利用者を募集しています。

■所在地 一戸町西法寺字大平地内
(総合運動公園に隣接)

■使用料 1区画(約40m²)あたり
年間3,000円

■設備など 水道、管理舎、貸出用の簡単な農具も備えています。

■利用できる方 満20歳以上の個人、または満20歳以上の方を代表者とするグループ

■申し込み方法 所定の使用許可申請書にご記入の上、産業課へ提出してください。申請用紙は電話で産業課へご請求ください。

■申込期限 平成22年4月16日(金)
■申し込み先 産業課 農業振興係
電話: 33-2111 内線255

木造住宅耐震診断士派遣事業

町では木造住宅の耐震診断を希望される方に耐震診断士を派遣する事業を行っています。

■対象住宅 昭和56年5月以前に建築された木造住宅で以後改築等を行っていないもの。

■診断費用 個人負担は3,000円

■応募戸数 5戸

詳しい応募要件及び申し込みは下記までお問い合わせください。

問 地域整備課 建築技術係
電話: 33-2111 内線282

新たな対策、戸別所得補償 モデル対策が始まりました

下記の項目に該当される方は、加入申請を行ってください。

・主食用米に10a当り1万5千円の交付←米戸別所得補償モデル事業

・水田を活用した作物への支援←水田利活用自給率向上事業

■手続期間 4月1日~6月30日まで
問 岩手農政事務所農政推進課
電話: 019-624-1125

地域第四課(二戸) 電話: 23-3125
二戸統計・情報センター 電話: 23-2221
役場産業課 電話: 33-2111 内線254

3月連休期間中のごみ収集について

問: 水環境課 電話: 33-2111 内線225

下表のとおり3月22日(月:春分の日振替休日)に町内中心部の燃えるごみ限定の早朝収集を実施しますので、ご協力お願いいたします。

なお、この3月連休期間のクリーンセンターの稼動日は以下のとおりです。

直接ごみを搬入する際の参考にしてください。

3/22(月) 振替休日	燃えるごみ限定早朝収集 ※資源ごみは集めません 朝6:30までに出してください	一戸、高善寺、西法寺区域 (浪打、鳥海方面は集めません) 【クリーンセンター】 8:45~14:00
-----------------	---	--

★保育施設開放★

鳥海保育所 電話: 32-2220
小鳥谷保育所 電話: 34-2524
奥中山保育所 電話: 35-2319
は4月13日(火)9:30~12:00
◎子育てサークルのびのび
(電話: 32-3770)は、
平日の月・水・金 9:30~14:30
※場所は、旧総合保健福祉センター

■休日当番歯科医 ▼診察時間 9:00~12:00 ■休日急患当番医▼診察時間 9:00~17:00

月日	医療機関	地区	電話	医療機関	地区	電話
3月14日	関歯科医院	二戸	38-2937	小原内科医院	二戸	23-3410
21日	こしみず歯科クリニック	一戸	33-4618	二戸クリニック	二戸	25-5770
22日	曾根歯科医院	二戸	27-3108	すがわら消化器内科	二戸	23-2879
28日	窪島歯科医院	二戸	23-2425	金田一診療所	二戸	27-2205
4月4日	三澤歯科医院	二戸	23-2445	むらかみ医院	軽米	48-1500
11日	小野寺歯科医院	一戸	33-3050	よこもり眼科クリニック	二戸	22-2230

新幹線夜間走行の実施について

東北新幹線(八戸・新青森間)開業に向け試験運行や設置の点検のため、新幹線の深夜運転が行なわれますので、ご理解ください。

■試験期間 4月13日(火)~9月2日(木)
概ね30日程度

■運転時間 0:00~5:00

■運転本数 1~3本程度/日

問 JR東日本 盛岡支社 企画室
新幹線完成検査PT 電話: 019-625-4019

多重債務者弁護士無料相談

■日時 3月24日(水)

10:00~15:00

■場所 二戸地方振興局1階
消費生活相談室

■対応弁護士 岩手弁護士会所属

問 二戸地方振興局 電話: 23-9201

※前日までに電話で予約してください

働く人の心とからだの 医師による無料相談

■日時 4月8日(木) 13:00~15:00

■場所 二戸市総合福祉センター
出張相談にも対応します。事前に下記まで連絡をしてください。

問 二戸・久慈地域産業保健センター
電話: 23-4466

二戸地区無料法律相談

■日時 3月23日(火)、4月13日(火)
10:00~15:00

■場所 二戸市役所 ※1日10人まで

■予約受付 二戸市 生活環境課

問 二戸市生活環境課 電話: 23-3111
岩手弁護士会 電話: 019-623-5005

まちの健康相談室からお知らせ

3月15日(月) 水洗化相談
13:00~15:00

19日(金) 骨年齢測定
10:00~12:00

23日(火) 心の悩み事相談
13:00~17:00

25日(木) 心配事相談
13:00~16:00

問 まちの健康相談室 電話: 33-4535

町民割引券について

奥中山高原ではまちの皆さん
温泉を利用しやすいよう、右の割
引券を発行します。

点線で切り取り、入浴時にプロ
ントに提出すれば右記の料金にな
りますので、ぜひご利用ください。



※奥中山高原温泉

町民割引券 (H22.4.30まで有効)

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り
入浴(貸しタオル、ヨーグルトなし)、ス
キーのリフト1日券のどちらか一方を下記
金額でご利用できます。本券1枚につき1
人有効。

△煌星の湯 △朝朱の湯

おとな 600→500円 500→400円

こども 300→250円 250→200円

△スキーリフト1日券

おとな 3,000→2,100円

こども 2,000→1,400円

戸籍だより (1月届出分)

☆お誕生おめでとう

名前	保護者	住所
久保 真大	淳	中山上家向
柴田 武留	浩	鳥越川原田平
沼台 結菜	俊覚	女鹿大久保
遠山みくる	和成	小鳥谷中屋敷
戸来 壮佑	正樹	奥中山西田子
工藤 ゆづは	政勝	姉帶名子根
鈴木 純莉彩	洋一	鳥越滝ノ沢
戸部 純貴	定美	面岸一本木
草木 快人	正信	女鹿草木
猪股 夢叶	成介	小鳥谷野中
野中 雄翔	信幸	小鳥谷穴久保

■ごめい福をお祈りします

名前	住所	年齢
中村 金次郎	岩館馬場平	81
上女鹿 弘義	西法寺諱訪野	48
土川 恵四郎	小友半在家	49
深持 節子	樺山深持	64
上山 敬助	中山輕井沢	80
田村 幸也	一戸向町	42
釜石 ヒサ	中山家向	80
小休 善治郎	小鳥谷上里	89
柴田 喜太郎	一戸大越田	83
西館 ナツ	宇別中村	86